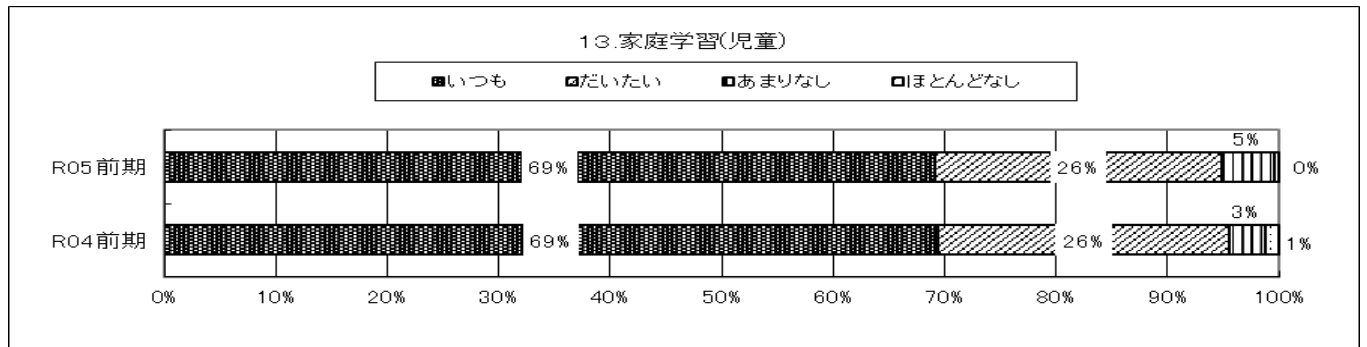
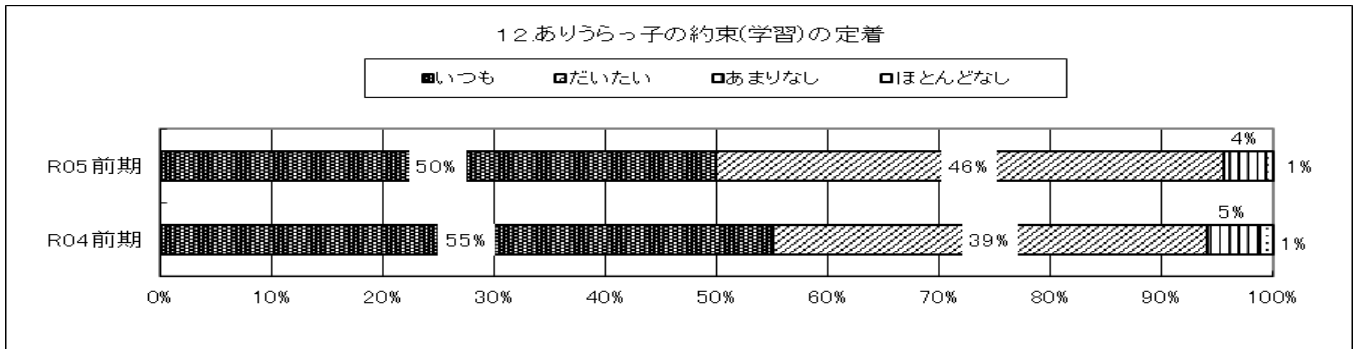


IV 基礎学力

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント
意欲的に授業に臨ませ、基本的学習習慣を身に付けさせながら学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	<p>学びのオリエンテーションとして「有浦っ子・学習の約束」や「家庭学習のすすめ」を配付し指導するという取組は、学習習慣や家庭学習の目指すべきゴールが可視化され、教師児童ともに共通理解が図られていると感じた。また、ただやらせるだけでなく定期的に振り返りの時間を設けていることで、学習の約束や家庭学習を自分事として考えられると思われる。しかし、学習習慣や家庭学習はすぐに身に付くものではない。今後も児童の振り返りを基に改善を加え、後期に向けて頑張ってもらいたい。</p>
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期（→年度）】</p> <p>①4月に「有浦っ子・学習の約束」を配付（掲示）し、身に付けさせたい学習習慣を共通理解し指導にあたった。また、振り返りシートを使って、自己評価を行い、自分の学習習慣を振り返ることができた。徐々に学習の約束が定着し、「机上の整理整頓」「発表の仕方」等、学びを進める上での基本的な約束が身に付いてきた。しかし、「返事」「反応」「話を最後まで聞く」の項目が、定着できていないと感じる場面があるので後期、力を入れて取り組んでいきたい。</p> <p>②家庭学習の取り組みとして、4月に「家庭学習のすすめ」を配付し、書き方等を確認している。また、各学年の廊下にノートを掲示することで児童の励みになるようにしている。初めは、書き方のお手本となるノートを掲示してきたが、徐々に、内容に工夫が見られたり、学習のコツを書いたりするようなものを掲示するようになってきた。児童は、少しずつ自分たちで取り入れようとする姿が見えてきた。同様に教室にも参考となる授業のノートを掲示し、授業のノート作りのお手本となり、自分のノート作りに生かそうとする姿が見られるので、後期も引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>③算数では、基礎・基本や数学的な見方・考え方を整理するために、単元ごとに「単元の整理表」を作成している。学び合いや習熟の時間は単元のどこに設定すべきかを単元構想の際に計画的に考え、習熟の時間の確保を目指している。</p> <p>（後期の取り組み）</p> <p>①学習の約束や規律については、定期的に振り返る時間を設ける。</p> <p>②声の大きさや反応がまだまだ小さい場面が見られるので、様々な場面で継続して指導していく。</p> <p>③読書強調週間を設け、読書に親しむ時間をとり、読書の楽しさを感じられるようにしていきたい。</p> <p>④研究・研修部と連携し、諸学力検査等の結果を活用し、評価問題を工夫していきたい。</p> <p>⑤習熟やレディネスにつながるよう、学習内容に合わせてタブレットを活用していきたい。</p>			
	<p>【後期（→次年度）】</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
9 基本的学習習慣	(9)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、ノート指導 ハンドサインの活用 全校テストの実施と事後指導 家庭学習への取り組み方の指導 朝読書の実施、読書運動の実施 読み聞かせの推進	3	
10 学力向上	(10)基礎学力の定着と向上	習熟の時間の確保と評価問題の工夫 諸学力検査等の結果を活用した 学力向上への取組	3	

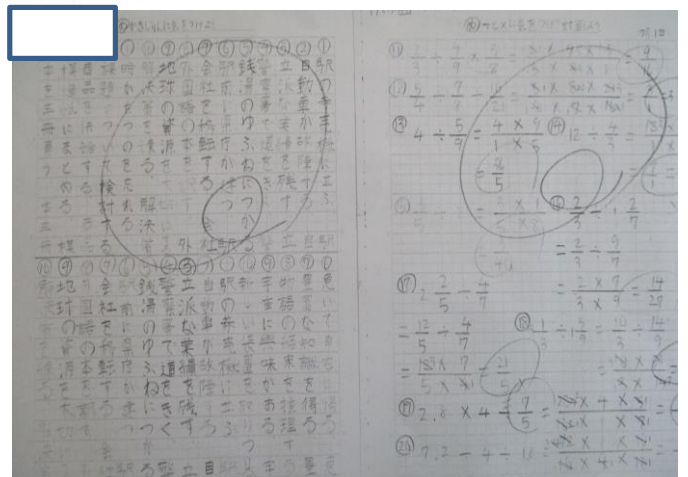
※学校教育アンケートから
(児童)



有満っ子・学習のやくそく (◎ ○ △)

	名前	6/6	6/20
授業中	①教科書・ノート・下じき・筆記用具を準備して休み時間にしていますか。		
	②授業が始まる時こくには席についていますか。		
	③正しい姿勢, 正しい鉛筆の持ち方で勉強していますか。		
	④話している人に体を向けて最後まで聞いていますか。		
	⑤「聞いたら反応」ができていますか。		
	⑥「はいっ」の返事はできていますか。☆☆☆		
	⑦いすの前に立ち, 聞いている人の方に体を向けて最後まではっきり話すことができていますか。		
	⑧下じきをしいて書いていますか。		
	⑨鉛筆や消しゴムなどは机の上の方に整理して置いていますか。		

学習の約束振り返りシート。学期の始まりに確認をする。2学期からは、④⑤⑥に力を入れていく。



家庭学習ノートを教室近くの廊下に掲示し、いつでも友達のノートを見られるようにした。家庭学習は基本2ページだが、1ページは自由に、もう1ページは教師が指定する等内容も工夫するようにした。